

ボランティア募集

臨床研究にご協力ください

研究課題名 「次世代型神経筋電気刺激療法による理学療法代替効果の検討」

対象と協力条件

◎年 齢：20～65 歳の方、 性別：不問

内 容

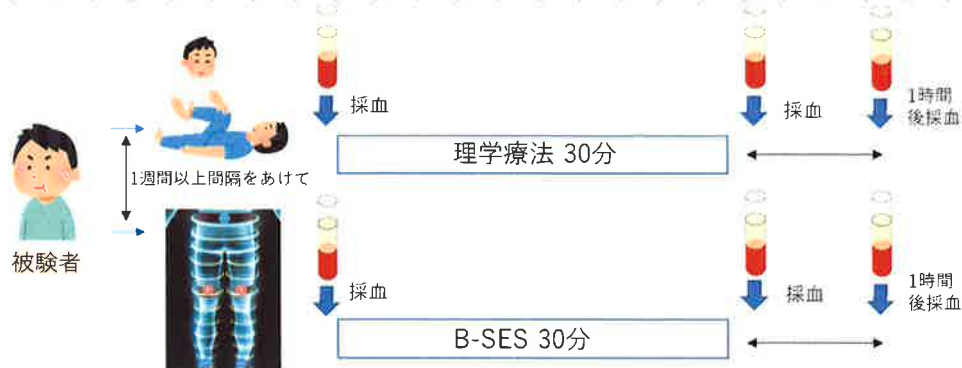
① 理学療法、次世代型神経筋電気刺激療法の使用前後での 10mL 程度の採血（最大 6 回）

この臨床研究に用いる医療機器は、ベルト電気式骨格筋電気刺激法（belt electrode skeletal muscle stimulation；B-SES）とといいます。B-SES は日本で開発され、電極をベルト式にすることにより、全周性に電気刺激ができ、従来の体表からの刺激では収縮誘導が困難な深部の筋群に対しても効果があるのが特徴で、電極を体幹、左右大腿・下腿にまくことにより全身骨格筋の約 70%の筋収縮が可能となります。広範囲の筋収縮の誘導が可能で近年、日本で臨床での活用が広まり現在全国約 400 の病院に導入されている次世代型の装置です。

理学療法（通常のリハビリで行われる酸素消費量 4Mets 程度の下肢筋力トレーニング）と 1 週間以上間隔をあけて、次世代型神経筋電気刺激療法を行いその前後と施行 1 時間後で採血を行います。

この研究には、あなたの血液を 1 回に約 10 ml を計 6 回させていただきます。熟練した医師が行いますので、採血に伴う危険はほとんどありません。

一方、あなたが受ける予想される不利益としては、B-SES 実施による疼痛やその後の筋肉痛、ベルトによる発疹やかゆみなどの皮膚トラブルなど生じる可能性はありますが、大きな有害事象は報告されていません。採血の不利益としては疼痛・皮下出血や針が血管を傷つけることによる内出血や血管損傷、神経に触れることにより起こる神経損傷、痛みや緊張等による迷走神経過反射、転倒等が考えられます。



募集人数 20名

募集期間 2021年10月8日 ~ 2027年3月31日
 (20名の応募者が確定した段階で募集を締め切らせていただきます)

当院外へお名前や個人情報ができることはありません。

必要なデータや情報のみを集計し、個人情報管理には十分に配慮いたします。
 なお、個人情報などの管理方法を含むこの研究の実施については、
 当院の臨床研究審査委員会の審査による病院長の承認を得ています。

* 詳細は下記にお問い合わせ下さい

—お問い合わせ先—

東海大学医学部附属病院 (電話：代表 0463-93-1121)

担当診療科 救命救急科

研究責任者 青木 弘道

担当者名 渡邊 伸央 (内線/PHS：5437)